

広報おとに

広報おとに 昭和57年5月15日発行(毎月1回15日発行)第157号

No. 157
'82 5/15

おもな記事

- *ことしはこんなことを
=昭和57年度事業のとり
くみ=……2~7ページ
- *国土利用小国町計画がで
きました…8~9ページ
- *ひろば……10~11ページ

昭和57年度
予算から

広報おとに 昭和57年5月15日発行

ことしはこんなことを…

*新しい予算の中身を施政方針の中から紹介します。

住みよい生活環境の整備

雪に強い町づくりへ

国道404・291号線誕生

昭和57年度一般会計予算の規模は、27億5,500万円となり、前年対比16.5%の伸び率となりました。前年度の伸び率9%を大きく上回っております。これは、本年完成する庁舎建設が大きな要因であります。新規事業の取組み等により、町民サービスをおとすことなく積極予算を編成いたしました。

歳入・歳出共に性質別にみますと、
歳入=自主財源…26%
依存財源…74%

歳出=投資的経費…41.9%
消費的経費…56%
内人件費…23.6%
……になっております。

雪のもたらす災害の大きさ、その重みと苦しさに耐えることから克雪への終点のない努力、そして雪が災害であるという認識を更に深める組織的活動を強力に進めながら、雪に強い町づくりと整備の進む高速交通に対応すべく諸施策を充実して参ります。

駅を持たない私たちにとりまして、国道の通過は大きな夢でありましたが、全町民のほとぼしる熱意が実を結び、国道404号線、291号線の2本が4月1日から町の大動脈として誕生いたしました。今後の整備促進につきましては更に力を注いで参ります。

一般公共事業では、八石トンネルの開通促進。町の基幹道路関連では太郎丸・諏訪井間の太郎丸橋の完成と改良の延長。柏崎・小千谷線の武石地区では改良完成と舗装延長。法坂・姉木線、小千谷・柿崎線では改良工事の延長。千谷沢・小千谷線の鷺之島地区では一次分の完了。更に高柳・小千谷線の法末地区で新規採択。防雪では塚山・小国線の土口地区の消雪

パイプ。柏崎・小千谷線の防雪柵。交通安全では田代・小国線の法坂地区歩道延長について調整中であります。

また、治山事業では、地すべり、なだれ防止林造成、更には復旧治山、保安林の改良、保育等の事業を導入し、危険の排除、林地の保全、保育に務めて参ります。

河川につきましては、渋海川・染屋川の局改、土口川の修繕、崩沢川、沢田川、楢沢川の砂防事業が施工されます。

更に県単公共で1億6,000万円の要望を致しております。昨年度公共事業として着手しました双柳橋が本年度から県代行に移管していただくことになりました。

また、町道整備では、改良9線1,130m舗装9線1,500m、消雪施設9線、その他橋梁維持修繕費等2億5,000万円余を計上いたしました。

なお、懸案になっておりました、除雪車の全車両を収容するために車庫の建設やガケ地危険住宅の移転、急傾斜地崩壊防止等の事業も計画いたしました。

また、災害復旧につきましては、

庁舎建設

順調に工事が進んでおり、計画よりも大幅な減額が見込まれ、3年次の外構工事も本年度施工できる見通しになりました。

10月には、防雪工事を除き完成する予定であり、町のシンボルとして、また町勢発展のとりでとして、更に心を引きしめ、町づくりそして町民サービスの向上に努力して参りたいと思います。

春の雪こぶしかざして赤子泣く 竹部タミ(二本柳)

この月の表紙



へりを迎えて交通安全教室

4月23日、町内三会場(上小国小・下小国小、小国中)で交通安全教室を開きました。当日は県警のヘリコプターの来町や交通巡視員の腹話術などもあり交通安全の誓いを新たにしました。

5月の納税

- *固定資産税……………第1期
- *国民健康保険税……………第2期
- *保育料……………5月分



へりを迎えて交通安全教室

町の人口 4月30日現在()前月比
男 4,510人(-6) 女 4,731人(+4) 計 9,241人(-2) 世帯数 2,303(±0)

発行 小国町役場 (☎越後小国(025895)3101(代)) 編集 総務課庶務係



7ページまでつづきます。ごらんください。

農業用施設、道路、河川等早期復旧に最善の努力をいたして参りたいと思います。農村総合整備モデル事業は、5年次を迎えましたが、伸び率の多くを望めず、1億500万円で道路排水工事、農村環境改善センターの測量、設計等を予定いたしました。

人の生命・財産に直接かかわる事柄だけに、町民のご協力をいただきながら、その未然防止には更に意を注いで参ります。次に検討を進めておりますところのゴミ処理は、広域事務組合への加入を打診しながら、当面処理場を整備し、ゴミの減量を要請し、対応して参りたいと存じます。

明るい地域福祉の向上

高齢者コミュニティセンターを建設

寝たきり老人の短期入所を計画

縁あって地域社会に住む私達が善意と努力の積重ねによって物・心両面のゆとりを生み出し、各世代の求める生きがいを掘り出しながら、人とのふれあいや連帯感を強めてゆくことが明るい地域社会の創造と考えます。

高齢者人口の増加に対応するため、国でも多面にわたり検討がなされておりますが、町でもクラブ活動をはじめ、老人の趣味や文化活動を更に助長しながら、地域の特産品などを模索して、生きがい対策と結びつける拠点として高齢者コミュニティセンターの建設を計画いたしました。ゲートホール等の付帯施設とともに、憩の家、授産施設の複合的活用が期待されます。

地域とのあたたかい結びつきのなかで、「おぐに荘」が順調に滑り出し、ミニコロニーの建設等恵まれない人々の施設充実とともに、本年は障害者の集いや寝たきり老人の短期入所も計画いたしました。また、救急業務の増加に対応するため、第2次救急病院施設整備を広域で進めることになりました。

4月の交通事故

4月1日～4月30日

(柏崎警察署扱・人身事故のみ)

月・日	天候	時刻	場所	事故の概況	傷者
4・19	晴	7:48	太郎丸	前方不注意の普通貨物車が自転車に接触	軽1

＝たしかめる 心のゆとり 初夏の道＝



- 日曜休日診療 (9時～15時)
 - 5月23日(日)厚生連小国診(新町)
 - 5月30日(日)厚生連小国診(新町)
 - 6月6日(日)厚生連小国診(新町)
 - 6月13日(日)成人健康センター(法坂)
 - 6月20日(日)上小国診療所(原)
- 心配ごと相談
 - 毎週火曜日(午前10時～午後3時)
 - 延命荘(☎2027)
- 母子健康相談
 - 毎週木曜日(午前10時～午後3時)
 - 就改センター(☎3575)
- 補聴器相談
 - 6月11日(金)(午前10時～10時30分)
 - 役場(☎3111)
- 県身障者体育大会
 - 5月30日(日)
 - 長岡市・西中学校
- 早おき野球開幕
 - 5月30日(日)
 - 総合グラウンド他
 - ※代表者打合会は5月21日午後7時30分から就改センター
- 春季消防演習
 - 6月6日(日)午前7時から
 - 総合グラウンド
 - 午前6時にサイレンが鳴ります
- 婦人バレーボール大会
 - 6月13日(日)(午前8時30分～午後4時)
 - 小国中体育館
 - ※代表者打合会は6月3日午後8時から就改センター
- おはようマラソン記録会
 - 6月13日(日)午前6時から
 - 就改センター前道路
- 小国町射撃大会
 - 6月13日(日)
 - 小国町射撃場
- 町民体育大会
 - 6月20日(日)
 - 町内3会場

「耕すや 陽炎もえる 中に居る」 市川達雄(原小屋)

「沿線に 陽炎もえて 昼静か」 佐藤ツル(千谷沢)

昭和57年度 予算から

産業の振興

下請共同作業所の建設

地籍調査事業に着手

地域における産業の開発・発展は、豊かさとゆとりへの希求でもあり、町づくりの原動力であります。内外の情勢は一段と厳しさを増しております。特に農業は、米を頂点として多くの課題に直面しておりますが、私達にもっとも身近な問題として水田再編対策があります。本年は、互助制度の検討を慎重に進めながら、自主転作を基本に農家のご協力を深めて対処して参りたいと存じます。農地の条件整備も急がれる課題の一つであります。桐沢地内のほ場整備、新町地内の農道整備、楢沢・三桶地内の暗きょ排水、苔野島・武石・三桶地内のかんばい等を主に町単基盤整備も含め計上いたしました。

3年次を迎えました農村地域定住促進対策事業は、当初計画の実施が困難な情勢のなかで、検討を加えて参りましたが、地域産業振興の呼び水となることを期待して、下請共同作業所の建設を計画いたしました。

また、林業をとりまく情勢も外材の輸入増大、従事者の高齢化そしてコスト高、年を追って厳しさを増しております。林野面積の多い当町にとって、山の活用

も大きな課題の一つであります。人工林率の増加、林産物の付加価値を高めてゆくため制度造林・受託造林を進めながら、本年は林業振興地域整備計画を策定し、新林業構造改善事業の指定に布石して参ります。

次に地元商工業の動向は、昨年に引続き、更に厳しい環境にあります。商業については、販売額の増大に、地元購買力の吸収、更に進んで観光産業等との結びつきに経営改善ができるかどうか、工業については、企業努力によって技術革新が進むかどうか、更には若い労働力が定着する企業誘致の可能性等が今後の商工業発展に大きな課題として考えられます。

関係者の皆様と十分協議のなかで、振興策を見出して参りたいと存じます。

本年から長期で新しい事業「地籍調査」に取組みます。土地の資料には、「更正図」と「土地登記簿」があります。しかし、明治の初期・幼稚な測量技術で作成し、長い歳月を経た現在、不正確のため争いの原因や不利になったりする事例も多くあります。

そこで国の高率な補助制度によって正しい位置、形、地番、地目、面積を修正

する作業を行うものです。

農協合併については、長い歴史をもった自主的な経済団体が新しい時代に対応するための合併問題だけに協議が進められておりますが、両組合の意志決定までにはかなりの時日が必要と想定されます。

教育文化の振興

人の心の豊かさと幸せを願って、生涯教育を重視した施設整備と、充たされる学習、親しまれるスポーツの普及による健康づくり、そして小国のよさを発掘し、育てながら地域社会を形成してゆくことが望ましい町づくりの基本と考えております。

近年、義務教育課程での校内暴力や犯罪行為が増加の傾向にあり、はだ寒いものを感じます。家庭・学校、そして地域が協力して、子供との心のふれあいを育てながら悪を未然に防止し、人間性豊かな児童・生徒の育成に努力して参りたいと存じます。

学校の施設・備品の整備につきましては、本年も配慮いたしたつもりでありますし、特に小国橋小学校は危険校舎のため、昨年に引続き床張り、柱等の補修について計上いたしました。

教育施設整備計画につきまして、具体的な取組みのための検討を進めておりますが、学校問題調査懇談会のご意見をふまえ、議会と十分検討のうえ対処いたして参りたいと存じます。

県立柏崎高校小国分校の2学級復元が地域の実情と総力を結集しての陳情が実を結び認可されました。また、心配されました志願者数も関係者のご理解を

短 信

○ 柚羊かんなどが 新潟県推奨優良品に

小国町の神田屋(相野原)、山理屋(千谷沢)でつくられている羊かんや饅頭が、4月1日付で「新潟県推奨優良品」に指定されました。

- 神田屋製
 - ・柚羊かん(5本 1,650円～ 8本入 2,600円)
 - ・八石(もなか)(12個 1,040円～ 15個入 1,300円)
- 山理屋製
 - ・延命の森饅頭(5個 300円～ 15個入 1,000円)
 - ・山理屋煉羊かん(3本 1,000円～ 5本入 1,650円)

○ 変更になりました

身障者の国鉄運賃割引が国鉄窓口で手帳の呈示等で受けられます。(現在使用の割引証は不要となります) ご不明の点は福祉係までお問い合わせください。

いただき、概ね希望が満たされましたことはまことにご同慶にたえないところで。今後は、施設整備を県当局に強く要請しながら、生徒数の確保等高校教育の充実のため一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

特別職・非常勤特別職の報酬がありますが、諸般の厳しい情勢を慎重に配慮いたし、町特別職報酬等審査会に諮問いたしました。同審査会で十分検討が重ねられ、2月4日に答申をいただきました。これらの経過と近隣町村の情勢をふまえて、提案いたしました次第であります。

国保特別会計

本年度予算額を5億2,700万円と対前年比1.7%の増といたしました。ご承知のとおり、最近の国保会計は被保険者の高齢化と医療費の増高によって、財政運営はまことに容易ならざるものがあります。特に老人医療費と高額療養費の通年的な増加は、今後も強まるものと考えられます。

当町の国保加入割合は55%で、高齢者が15%を占め、その医療費は42%にも達しております。

財源措置としましては、2,000万円の基金繰入れ、500万円の一般会計繰入れによって、保険料の急激な上昇を調整し、被保険者の負担軽減に対処いたしました。

また本年は、疾病の早期発見、早期治療や健康の維持増進に役立てるため、成人病予防対策として国民健康保険総合検診(人間ドック)助成事業を計画いたしました。現在実施されている各種検診と

の活用によって、より効果を高めたいと願っております。更に、現在10万円の助産費を12万円に改訂し、出産費用の軽減にも配慮いたしました。国保会計は、今後も厳しい要因が予想され、そのなかでの健全運営が要求されますので、臨時財政交付金の増額や制度改革に向けて国県に対し強く要請して参る所存であります。

国の財政はもとより、地方財政をとりまく諸要因は、益々厳しさのみまきばりにされる見通しのなかで、健全財政を基

《新潟県知事選挙結果》

投票所	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
第1投票所 山野田部落公民館	66	59	89.39
第2投票所 三桶部落共同作業所	303	269	88.78
第3投票所 荻野島薬局開発センター	173	152	87.86
第4投票所 小栗山薬局開発センター	274	252	91.97
第5投票所 上小国小学校	838	700	83.53
第6投票所 太郎丸薬局開発センター	712	615	86.38
第7投票所 法末小学校	202	185	91.58
第8投票所 中里小学校	1,265	989	78.18
第9投票所 小国橋小学校	1,181	990	83.83
第10投票所 武石部落公民館	495	434	87.68
第11投票所 上栗薬局開発センター	479	420	87.68
第12投票所 小国町公民館八王子分館	210	199	94.76
第13投票所 小国町公民館千谷沢分館	741	618	83.40
合計	6,939	5,882	84.77

*開票結果—有効投票 5,816 無効投票66

候補者名	党派	得票数
君健男	自由民主党	3,427
坂上とみお	無所属	2,389

○昔の写真がありましたら

新聞社で「1億人の昭和史」の別冊「新潟県版、明治・大正・昭和」の発刊を計画しております。

小国町にお住まいの方で、その時代の風見・街並み、建物、出来事などの写真をお持ちでしたら、ぜひお借りしたいと存じます。

お手数でも教育委員会(☎3575)に5月末日までに、ご連絡ください。

○談話室の利用は申込を

就改センター

町民のみなさんから、いつでもご利用いただけるように夜10時まで開放してありましたが、管理の面で若干の問題点もありますので、今後当分の間は、事前に申込みをされた時だけ開放いたします。

利用希望の際は教育委員会(☎3575)まで申込んでください。

「春雷や微笑み寄り添う道祖神」

品川剛(森光)

昭和57年度 予算から

高齢者の仕事づくりと健康増進に

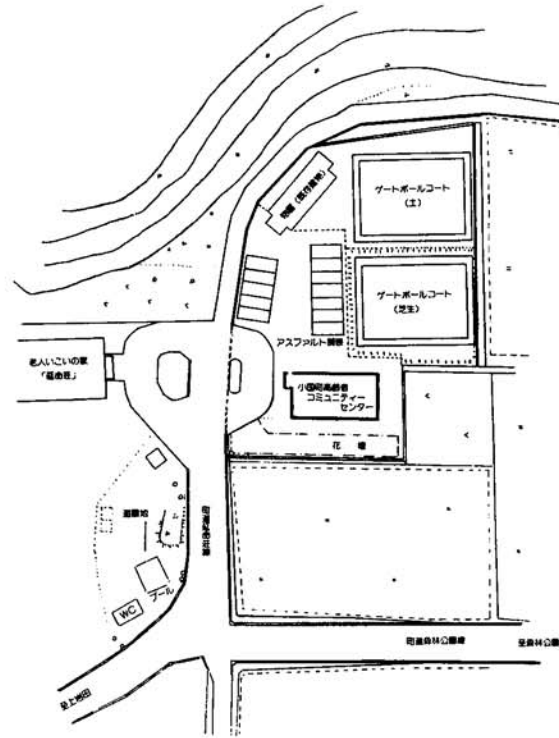
—高齢者コミュニティセンター—

高齢者人口の増加にともない、その福祉対策として高齢者の自主的な活動の助長による生きがい対策が望まれ、現在老人クラブ活動の指導、援助をはじめとする諸施策を積極的に進めています。

しかしながら、施設の不足から活動の内容は制約され、十分な対策を講ずることができない面があります。とくに、高齢者の生きがい活動として求められている仕事づくり(生産・創作・趣味活動の場)及び健康増進のための軽スポーツが気軽にできる場の整備が望まれています。

現在ある老人憩の家「延命荘」は、もっぱら高齢者の休養と娯楽の施設ですが、今年度計画している「高齢者コミュニティセンター」は、生産(実習・技術研修)関連と保健体育機能を果す施設となります。位置は延命荘の向い側、1階部分は鉄筋コンクリート造で加工実習室や作業室。2階部分は鉄骨造で多目的ルームの予定。面積は1階158.4㎡、2階147.4㎡、合計305.8㎡。

完成は11月頃です。



▶小国町高齢者コミュニティセンターはここのです。

現在使われている「土地台帳」や「更正図」は明治の初めに地租をとりたてるためにつくられたもので、当時の測量技術の幼稚さと永い年月を経たため、現況のうつりかわりもあり、目的がたよっていたため、今では使い道によってはあてにならなくなり、大切な土地について争いの原因になったり、所有者が不利になったりすることがあります。

これから行う「地籍調査」は、正しい測量技術によって、新しい地図と帳簿(地籍図と地籍簿)を作り、みなさんの土地の正しい位置、境界、形、地番、地目、面積を明らかにするためのものです。

これができることで、科学的に土地の所在が証明できますので、みなさんの大切な土地の境界等が明確になり権利を守ることができると共に土地改良事業やいろいろな建設事業の計画を樹てたり、作業したりするのにも大変役立ちます。

今年度は大貝・三桶地区を計画しており、4月末に関係部落の説明会を行いました。5月中旬からは一筆ごとの境界杭の打設が始まります。



地籍調査事業

大貝・三桶地区を計画

国土利用小国町計画ができました

「土地はみんなの大切な資源」という認識のもと、「国土利用小国町計画」がつけられました。

● 国土利用小国町計画とは

8,593haの町土は、現在及び将来における町民のための限られた資源であるとともに、生活及び生産を通ずる諸活動の共通の基盤であるという認識のもとに、公共の福祉を優先させかけがえのない自然を守りつつ、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に配慮し、豊かな生活環境の確保と町土の均衡ある発展を願い、総合的かつ計画的な利用を図ることを目的とし、国・

県・町とそれぞれ三段構えで系統的な関連をもちながらつくられています。この計画をつくるにあたり、町民のみなさんの意向調査を実施させていただき、その結果は広報おぐに(56年2月号)でお知らせしたとおりです。これを基礎にして将来の予備想と調整を重ね、町の総合開発審議会に諮り、県協議も完了し今議会の可決によって成

立したものです。

この計画は、総合的な見地になつた土地の利用体系を確立し、各種施策を推進する場合作る重要な判断基準になります。都市計画法や農振法のように、線引きをして具体的な土地利用を定めたり、規制したりする計画ではなく、あくまでも土地利用に対する基本的な構想方針を示すものです。

土地利用の基本方針

将来目標を昭和65年に設定し、基準年次は昭和50年としました。土地利用の目標面積を決めるにあたっては、昭和65年における人口・世帯数・産業形態等の動向を予測して、「健康で明るく豊かな生きがいのある町」を建設するため、町土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標を定めたものです。

利用区分別の方向と目標

農用地

高生産農業を目標に食糧供給基地として、土地基盤の整備・農用地造成等、農業生産基盤の整備をさらに進め、農業の近代化と経営の省力化及び生産組織の育成を推進することにより優良農地を積極的に確保します。山間地に散在する生産性の低い農用地については、周辺の利用状況との調整を図りつつ、転換等によりその機能の増大に努めます。目標年次には他地目からの

転換と他への転換を相殺し、なお254ha減少し全体で1,470ha程度となります。



森林

林産物生産の機能をもつてみでなく、町土保全、水源かん養、自然環境の保全等と住民の保健・保養・レクリエーションの場として町民生活に大きく貢献しています。このように多面的な役割を担う森林については、豊かな緑を確保してゆくとともに、人工林の拡大を図っていきます。町全体では目標年次に215ha増加し、5,655ha程度となります。

原野

自然環境の保全に配慮し、その有効利用への転換を図り、町全体では目標年次に2ha程度となります。



水面・河川・水路

水面は災害防止及び今後予想される水需要の増大に対応して水資源を確保し、河川は災害防止のための整備保全、水路は既存の農業用排水路の維持改良並びに圃場整備の推進に伴う必要な用地の確保を図ります。

これらの施設の整備にあたっては、自然環境等が損なわれないよう配慮し、目標年次で5.2ha増の227.1ha程度となります。

道路

町土の有効利用には、道路網の整備は必要不可欠の要素です。住みよい生活基盤の整備を進めるため、交通安全施設や環境保全に配慮しながら、効率的な交通体系の確立を図らなければなりません。一般道路、農林道を併せ総延長は486kmとなり、面積にして基準年より30.7ha増で、232.7ha程度となります。

宅地

基礎的な前提条件となる人口・世帯数の予測が若干の減少としているが住宅地については、平場地区への集積が考えられ、生活関連施設の整備促進、望ましい居住水準を目標とすることから若干の伸びが予想されます。工場、事務所店舗等の敷地は、農村工業導入関連による企業誘致が進み、基準年次に比較し、大きな増加となります。宅地全体では15.3ha増加し、174ha程度となります。

その他

グラウンド、駐車場、児童遊園、学校敷地など公共施設用地については、町民生活上の重要性を考え、行政需要の増大と多様化に対応しながら環境保全に配慮して必要な用地の確保を図るものとします。



計画達成のための対策

- ① 適正な土地利用の確保と地価の安定を図る。
- ② 克雪と過疎脱却のための企業立地と地場産業の育成等産業の振興。
- ③ 自然環境の保全・歴史的風土の保全・文化財の保護。
- ⑤ 農用地の無秩序な転用を抑制し、優良農地の確保。土地改良の推進。

ご存知ですか? 健康にいがたクローバー運動 ①

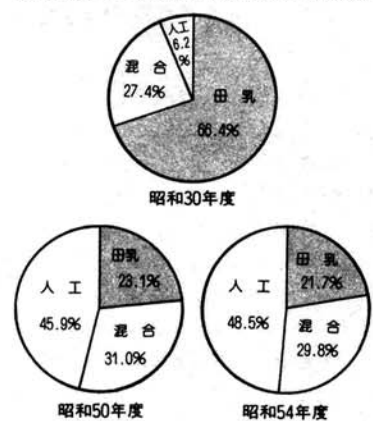
〈新潟県の4か月未満児の栄養状況〉

新潟県では「つくろう健康ゆたかな明日へ」をテーマに健康づくり運動を展開しています。今回よりその運動の大きな4つの目標(四つ葉のクローバーにたとえてクローバー運動といいます)を紹介します。1回目は「母乳で育てよう」です。

母乳で育てよう

母乳育児の推進は、免疫学上や、母子の肌のふれあいによる情緒の発達に重要です。

母乳の中に含まれる種々の栄養素は、赤ちゃんの発育に最適です。少なくとも生後3〜4か月までは、母乳で育てましょう。生後1週間以内にできるお乳は、初乳といわれ、赤ちゃんを病気から守る免疫体が多く含まれています。母乳で育てるといことは、お母さんの胸にだかれたひとときが、母子の肌のふれあいを通して、心のやすらぎと情緒の発達を伸ばします。



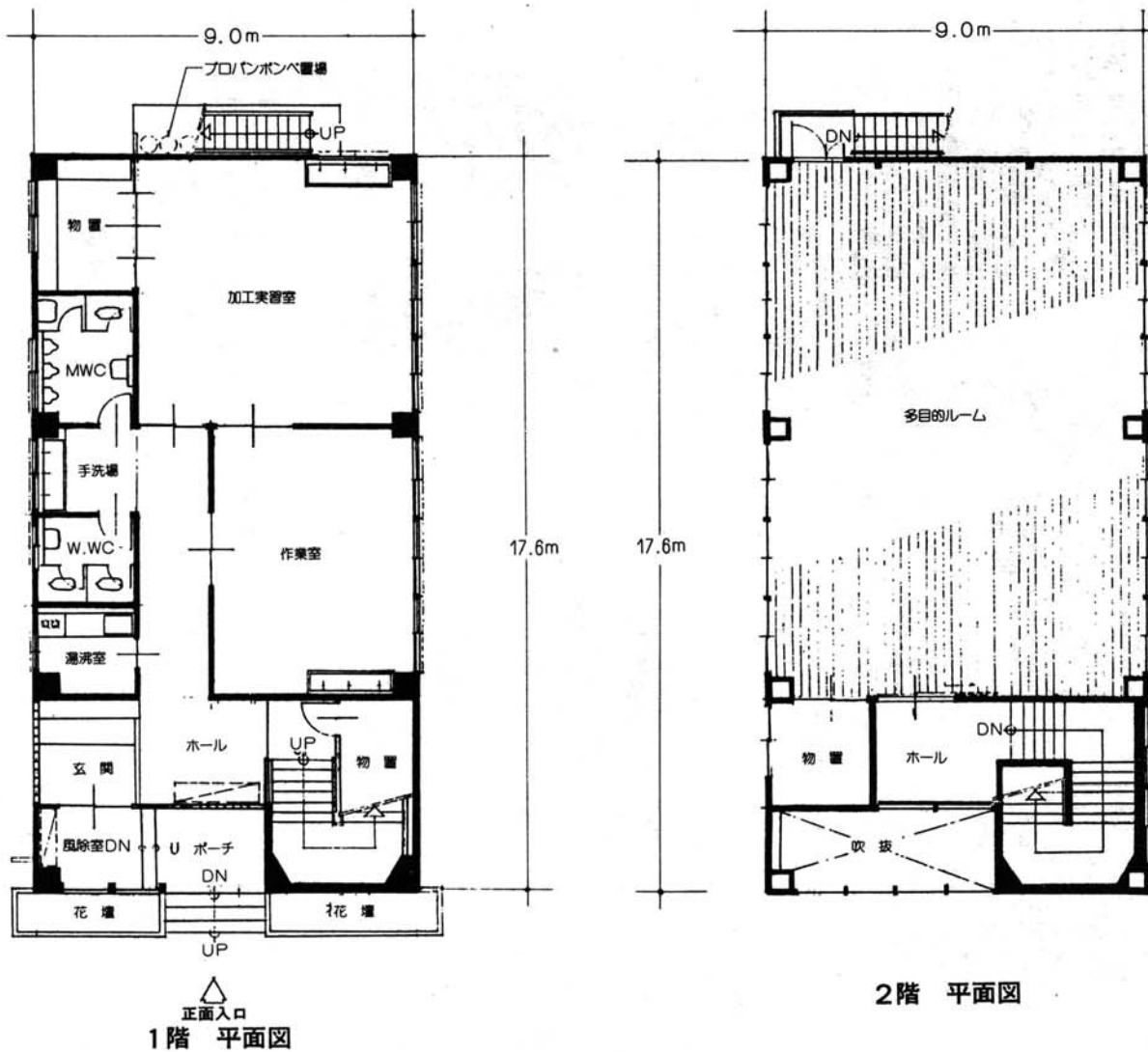
検察審査会をご存知ですか?

窃盗とか、傷害または交通事故などの犯罪によって、被害を受けて警察や検察庁に告訴したが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない(これを「不起訴処分」といいます)ので、どうも納得がいかないというときは、検察審査会に申し出てください。申立てには費用は一切かかりません。検察審査会では、市町村の選挙人名簿からくじで選ばれた11人の審査員が、その事件をよく調査し、検察官の裁判にか

けなかった処分が正しいか、どうかを判断し、その結果を検察官を監督する検事正に申し入れます。検察審査会が裁判にかけるといふ議決に基づいて、検察官が事件を裁判にかけ徴役や罰金刑を言い渡された例も少なくありません。検察審査会は、以上のように検察官の仕事に一般国民の気持を反映させようとの目的から設けられた国の機関ですので、検察官の不起訴処分に不満を持っておら

れる方は、お気軽に下記にご相談ください。
長岡市三和3丁目9番地28裁判所構内
長岡検察審査会事務局
(☎0258-35-2141)

11月完成!



1階 平面図

2階 平面図

国民健康保険で人間ドックを

(総合健康診断)



町では成人病の予防対策として、疾病の早期発見・治療を推進するため、国保に加入されている40歳から65歳までの方で希望者を対象に1日で終了する総合健診(人間ドック)を実施し、その費用(約28,000円)の半を補助します。

時期は6月~7月頃の前定です。申込みなど詳しくは後日お知らせします。



増茂昌夫氏に勲三等瑞宝章



増茂昌夫氏(小国町楢沢出身。南西航空代表取締役社長)は、昭和56年秋の叙勲で勲三等瑞宝章を授与され、このほど地元に戻って喜びの祝賀会を開きました。

増茂氏は、明治41年5月28日、小国町楢沢に生れ73歳。現住所は沖縄県那覇市。

昭和13年の大日本航空の創立から、昭和26年の日本航空の創立、そして北日本航空社長、日本国内航空の創立、昭和42年南西航空創立、代表取締役社長に就任と現在まで航空業の経営に携わり、その功績により航空業の現職者としてはじめて勲三等瑞宝章を昭和56年11月3日授与されました。

小国町出身者としての叙勲は、村山鈴一郎氏(東京小国会会長)について2人目です。

てんてんのコーナー

◆「テレメス」という商品名の不法設備が出まわっています。これは、ダイヤル式電話機のダイヤル板を取替えてプッシュホンとして使用するものです。郵政大臣の認可をまだ受けていないもので、故障や品質面において問題がありますので、ご不審な場合には電話局へご連絡ください。

◆電話局では、電報電話をより便利に利用していただくために、「電々奥さまモニター」制度を設けています。このたびは、吉田さわ子さん(七日町)にお願いすることになりました。どんなことでも結構です。みなさんの声をお待ちしています。

越後小国電報電話局(☎3000)

成人おめでとう

＝弥彦神社で小国町成人式＝



▼ 新緑のなか社殿の前で記念撮影



